

水道管凍結防止対策について

冬の冷え込みが厳しいときは、**水道管の中の水が凍ったり破裂したりすることがあります**。特に屋外で風当たりの強い所や、**管が露出しているものは注意が必要です**。

次のことに注意し、凍結を防ぎましょう。



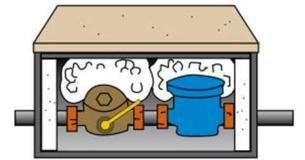
①凍結防止対策(例)

◎水を出しておく

水を常に出しておく、水道は凍結しにくくなります。そのため、特に冷え込む夜の時間帯などに浴室などの蛇口から水を少量だけ出しておくことで凍結を予防することができます。

◎水道管を保温する

蛇口や給湯器の水道管にタオルや保温テープなどを巻くだけで外気を遮断することができるので、凍結しにくくなります。



◎メーターを保護する

メーターボックスの中に、使い古しの毛布や布切れ、発泡スチロール等を入れ保温します。

※毛布や布切れを使用する場合は、ビニール等で密封し水分を含まないようにしてください。

②水道管が凍ってしまった場合

1. 自然に溶けるのを待つか、凍ってしまった部分にタオルなどを被せてゆっくりとぬるま湯をかけてください。

※急に熱いお湯をかけると管や蛇口が破裂したり、給水栓をいためたりすることがありますので注意が必要です。

2. 凍結により、蛇口を開けても水が出ない場合、水が出なくても、必ず蛇口を閉めるようにしてください。

③水道管が破裂してしまった場合

1. 水道管及び水道メーター(メーターガラス)が破損したときは、できる範囲でメーターボックス内のバルブを閉め、水を止めてください。

2. メーターボックス内のバルブを閉めても、水が止まらない場合、上下水道局にご相談下さい。